

弘田柵跡(秋田県大仙市)

ほったのさくあと

ここは弘田柵の外柵南門跡/両サイドは材木塀/右手前に標柱が立っている/南側から北方向に見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



外柵南門跡の前方に外郭南門跡、その更に前方に政庁跡がある



そこで左方向(西方向)を見たところ/左手の建物は総合案内所



同じく右方向(東方向)を見たところ



これが弘田柵総合案内所/冬季につき、閉鎖されていた

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



説明板/外柵南門をはじめ、材木塀や外郭の四門と石塁、古代河川や南北大路等が復元されている

国指定史跡「払田柵跡」

払田柵跡は、今から約1,200年前の平安時代の初めに造られた古代城柵の遺跡です。当時の東北地方には、都の人々から蝦夷(エミシ)と呼ばれた人々が住んでいました。払田柵は彼らを政治的・軍事的に支配するため律令国家により造営されました。

創建時に使われた角材の年輪年代から、西暦801年頃に建てられたと考えられています。歴史書にも明確な記述がない遺跡です。外柵と呼ばれる地上高が約3.6mの角材を並べた材木塀は総延長が約3.6km、外柵で囲われた遺跡の総面積は約878,000㎡で、古代城柵では最大級の広さを誇ります。

現在は、外柵南門をはじめ、材木塀や外郭の四門と石塁、古代河川や南北大路等が復元されています。また、払田柵総合案内所(当館)では払田柵の歴史が分かるアニメの上映や貴重な出土資料を展示しています。

Nationally Designated Historical Site Hotta no Saku

Hotta no Saku is the relic of a fortification dating back 1,200 years to the early Heian Period. During that time, people known to those from the capital as Emishi resided in the Tohoku region, and the structure was constructed by the central government as a political and military stronghold to rule over them.

By studying growth rings of the timber, it is thought that construction occurred around 801, but there are no substantial entries regarding the fortification in historical documents. The exterior walls comprise of 3.6m high wooden posts, and stretch 3.6km in length. With a total area of 878,000㎡, the structure is one of the largest of its kind.

As of today, the Southern Outer Gate, exterior walls with their four gates and stone banks, former river and main road have all been restored. Inside the Hotta no Saku Information Centre, an animated historical film alongside archaeological documentation are on display.



外郭北門
Exterior Northern Gate



政庁跡
Government office site



外柵南門



古代河川・南大路
Ancient river and southern road



外郭南門・石塁
Exterior Southern Gate and stone wall

当館(払田柵総合案内所)が閉館の場合は、道路を挟んで向かい側にある埋蔵文化財センタートイレをご利用ください。

Please use the toilet facilities at the Akita Archaeological Centre across the road when the information centre is closed.



大仙市 Daisen

そこから外柵南門跡方向を見たところ



こんな看板もあった

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



こちらにも標柱が...



さて、外柵南門跡から政庁跡方向へと進んでみよう



外柵南門跡から南大路へ進み、外郭南門跡方向を見たところ/正面前方やや右手の建物は復元された東建物
([クリックしてビデオを見る](#))



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



振り返って、外柵南門跡を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ

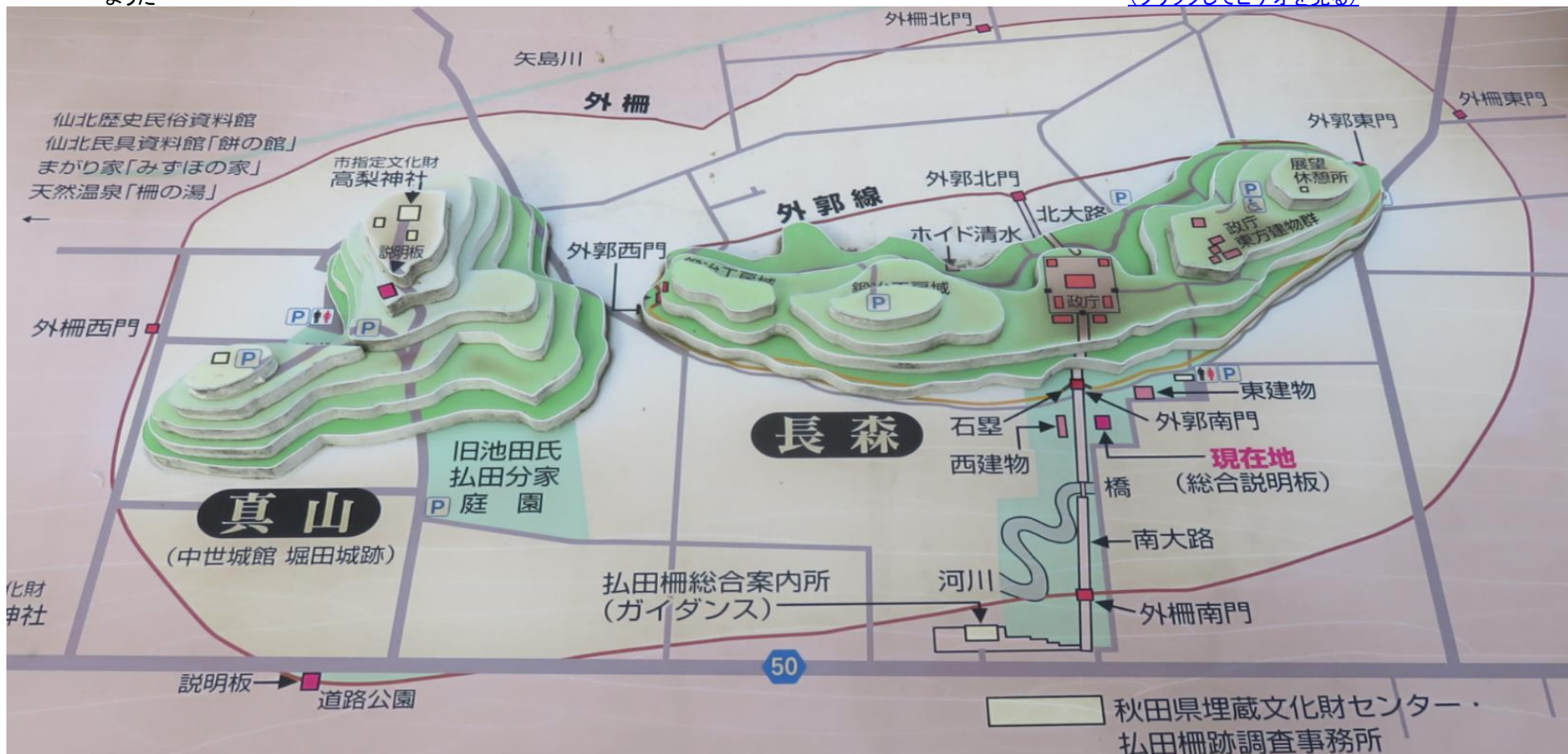


政庁方向へ進むと、説明板があった

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



弘田柵跡のジオラマ/長森中央に政庁が展開する/この手前には河川が流れていて、外柵南門跡から外郭南門跡へは木橋を渡って進むようになっていた
[\(クリックしてビデオを見る\)](#)
ようだ



弘田柵は当時東北地方に住んでいたエミシ(蝦夷)と呼ばれた人々を政治的・軍事的に支配するために律令国家(大和政権)により801年に造営されたと云う







推定復元図
香川元太郎 画

その他の主要な施設

政庁東方建物群^{せいぢようとうほうたてものぐん}には政庁脇殿と同規模の掘立柱建物^{ほったてばしらたてもの}などがあり、役所としての実務が行われていました。

鍛冶工房域^{かじこうぼういき}は長森西側の西半部、次いで東半部の順に機能し、鉄製品や銅製品などを生産していました。

ホイド清水^{すずみ}は創建から終末期まで使用された井戸(湧水を利用した溜井^{ゆうすい})で、現在も水をたたえています。

東建物^{ひがしたてもの}は創建期につくられた政庁正殿に次ぐ規模の南庇を持つ掘立柱建物^{みなみびだし}で、ここでも蝦夷との宴会が行われていました。

西建物^{にししたてもの}は東建物の機能を10世紀初めに受け継いでつくられました。

真山^{しんざん}は10世紀前半には墓地として利用されていました。また、13世紀以降に中世城館の「堀田城」^{ほったじょう}がつくられました。現在も曲輪・土塁・空堀が良好に残っています。

主な出土遺物

主な出土遺物には、土師器・須恵器・施釉陶器・硯・瓦・鉄製品・木製品・絵馬・漆紙文書のほか、^{うるしがみもんじょ}「飽海郡隊長」^{あくみくんたいちよう}「十火」^{じっか}(100人の兵士を意味)「嘉祥二年正月」^{かしょう}(849年)などの木簡^{もくかん}などがあります。

大仙市教育委員会

正面が外郭南門跡/その背後の高台が政庁跡

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



左手を見ると西建物跡がある



北側から西建物跡を見たところ



外郭南門跡と石塁/南門の掘立柱の位置が示されている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



説明板が置かれている



石 墨

遺構番号SF690

発掘調査の成果に基づき、上部を復元しました。
左側(西側)の下部は、千二百年前の実物遺構です。



北側(丘の上・政庁側)から撮影

遺構年代 / 9世紀初頭 平安

ここが石墨の実物遺構

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



外郭南門跡



外郭南門跡から階段を登って政庁跡を見たところ/正面は政庁南門跡

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



振り返って外柵南門跡方向(南方向)を見たところ



西前殿跡



横から見たところ



東前殿跡



横から見たところ



さて、ここが政庁南門跡/この前方が政庁跡

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



右手に「政庁南門」、「板塀」の表示がある





同時代の古代建築
陸奥国磐城郡政庁跡発掘資料より



政庁正殿前広場

儀式や祭祀、朝貢に対する儀応などが行われた、郡庁の中心施設。千二百年前の平安時代に、いを地ながらご覧ください。

政庁 板塀跡

SD114
遺構番号

発掘調査で検出された政庁を
囲む板塀跡(南辺)の位置を平面
的に表示しました。
(高さは不明)

遺構年代 / 10世紀前葉・平安時代前期

そこで左手を見たところ/左手は西前殿跡/右前方は西脇殿跡



同じく右手を見たところ/右手は東前殿跡/左前方は東協殿跡



これは正殿方向(北方向)を見たところ



西脇殿跡



東脇殿跡



振り返って、政庁南門を見たところ



そこで左手を見たところ/前方は東前殿跡



同じく右手を見たところ/前方は西前殿跡



西脇殿跡



横から見たところ



東脇殿跡



横から見たところ



政庁西門跡



政庁東門跡



さて、ここが正殿跡/南側から北方向に見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



右手から見たところ









政庁正殿跡

大仙市教委 文化財保護課

これは正殿背後の北方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



「外郭北門」の表示がある/左前方が外郭北門跡のようだ



ここが政庁跡から北大路を北に進んだ所に復元されている外郭北門跡/この他に外郭東門、外郭西門も復元されているようだ



振り返って、正殿跡を見たところ



これは正殿後方西建物跡



横から見たところ



これは正殿後方東建物跡



横から見たところ



これは政庁右手(東側)のエリアに復元されている政庁東方建物群跡



こな塩梅



さて、ここは弘田柵跡の直ぐ傍にある秋田県埋蔵文化財センター

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)

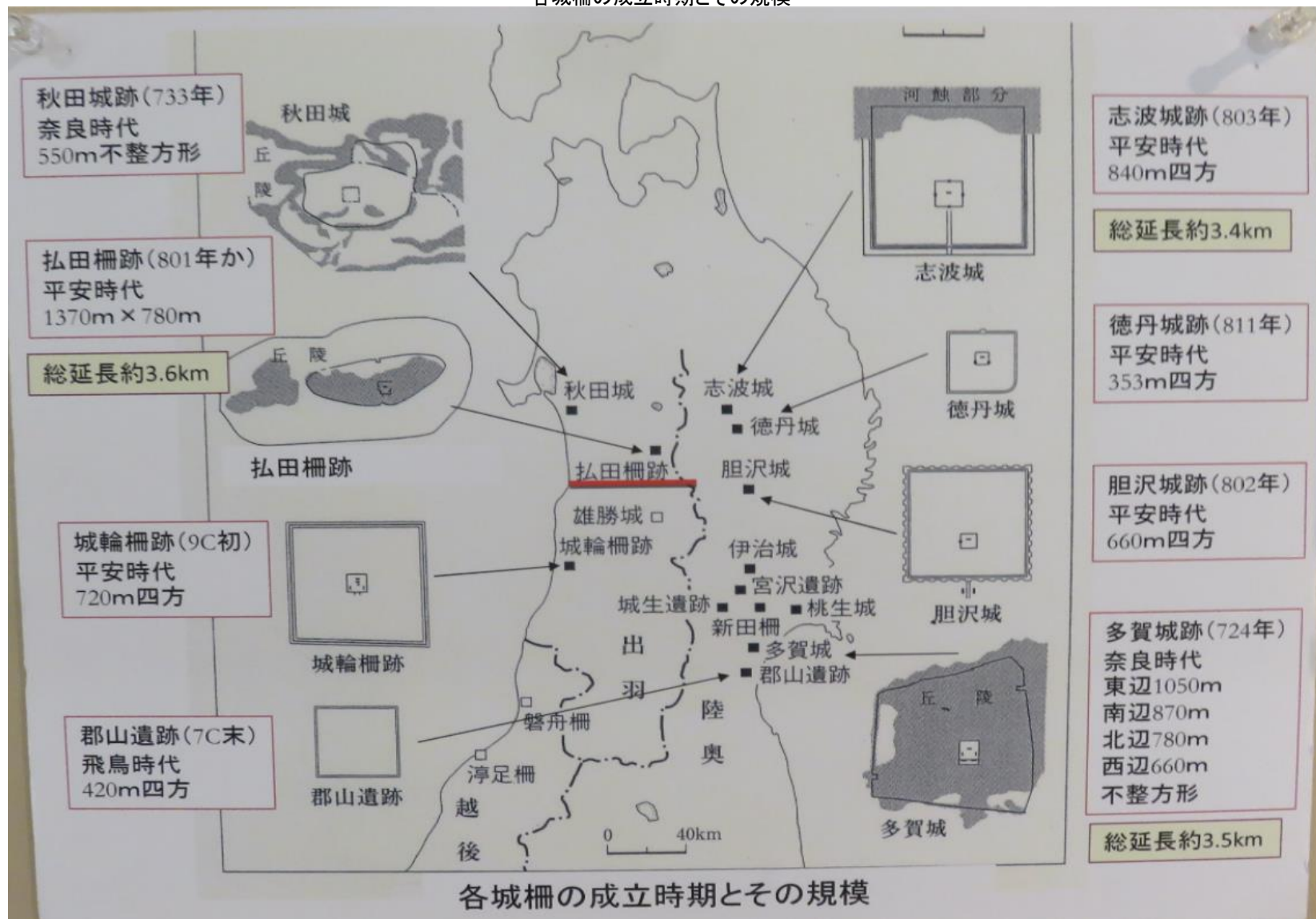


現場にもあった払田柵推定復元図



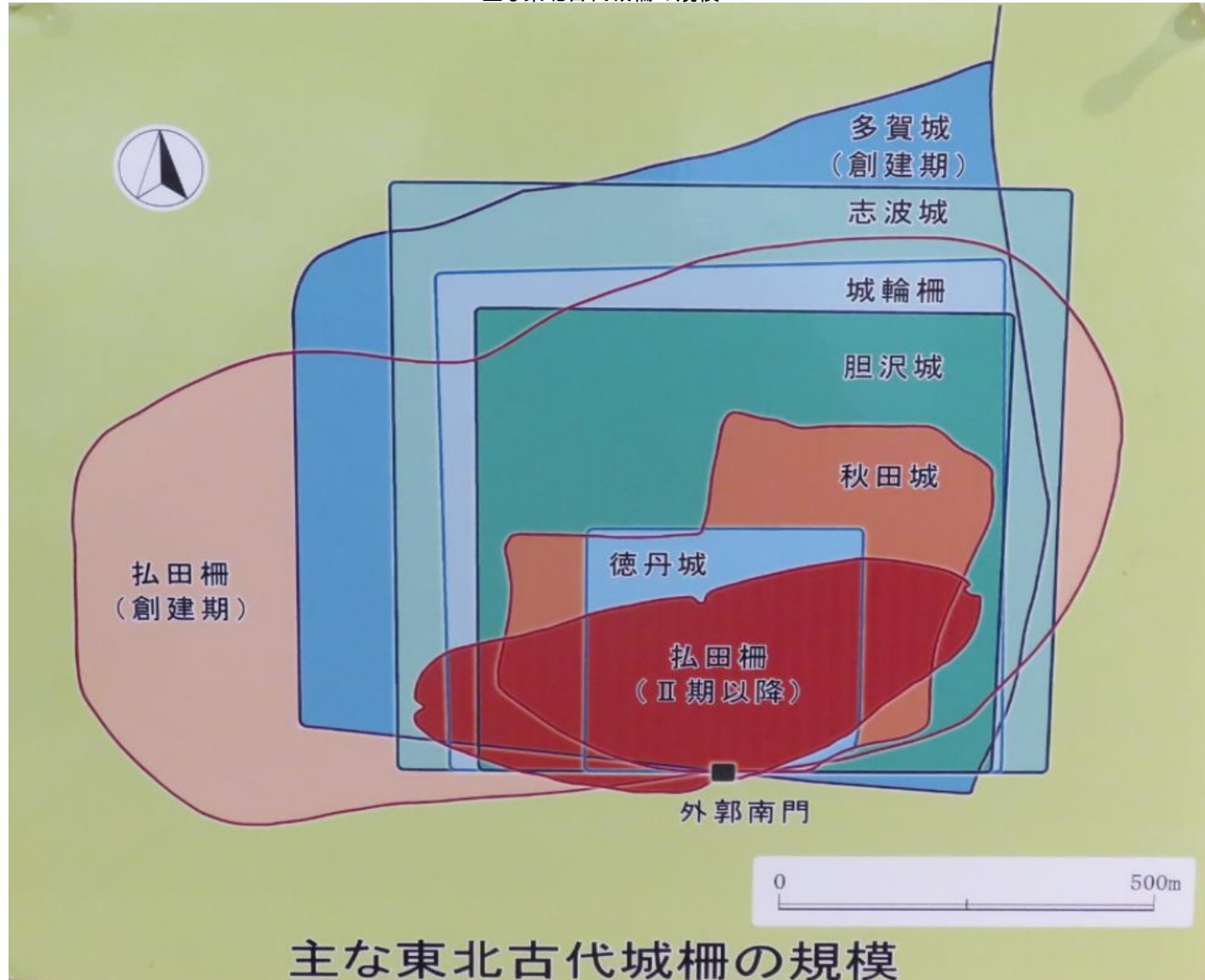
推定復元図
香川元太郎 画

各城柵の成立時期とその規模

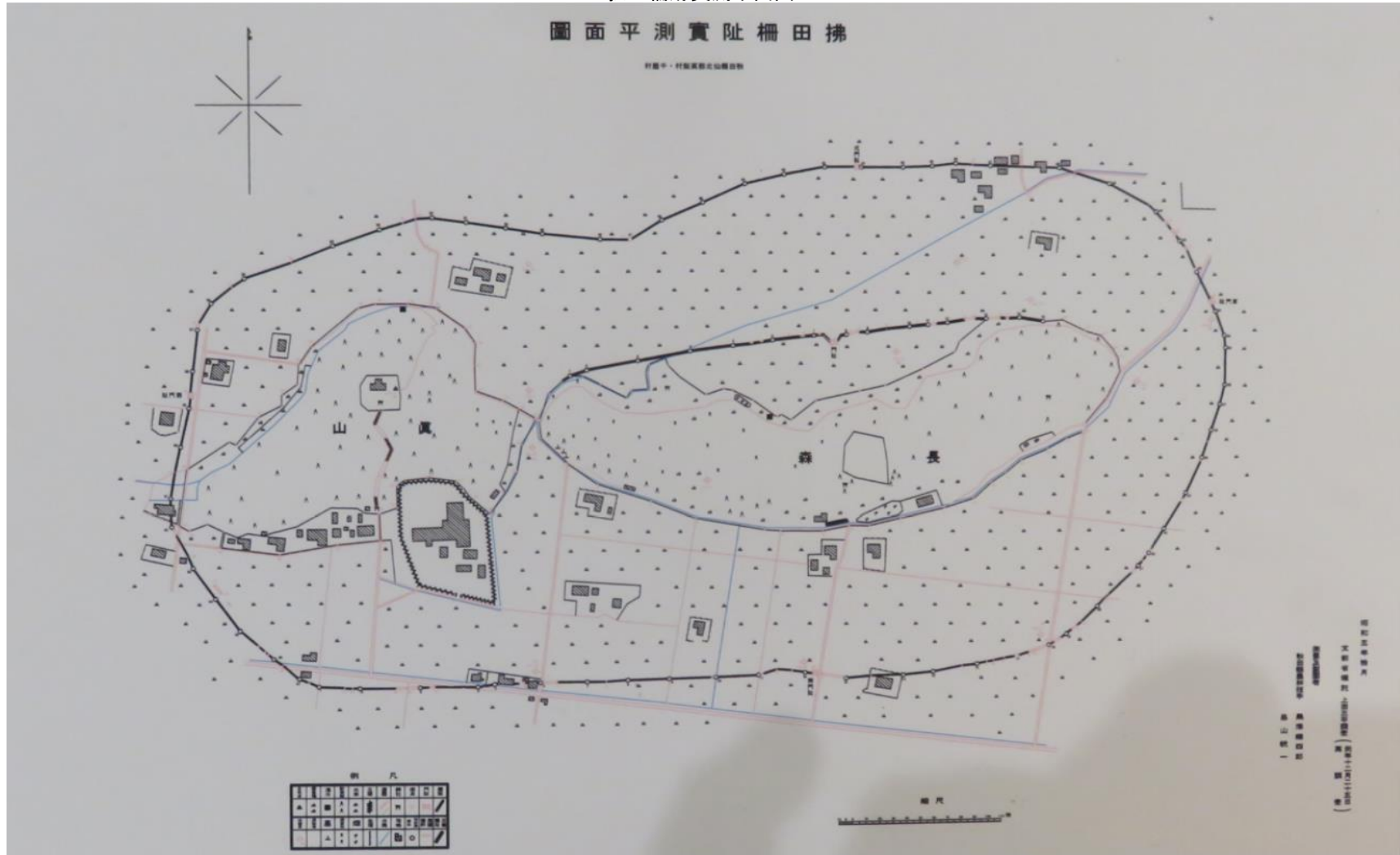


各城柵の成立時期とその規模

主な東北古代城柵の規模



弘田柵跡実測平面图



弘田柵創建段階の外郭南門屋根の棟飾りとして用いられていたと想定される出土瓦

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



払田柵に関連する祭祀遺跡の出土遺物



くりやかわやち
厨川谷地 遺跡

【弘田柵に関連する祭祀さいしの場】

弘田柵から東へ約200m離れた祭祀さいし遺跡。
陰陽師おんみょうじが用いた星形の模様「五芒星ごぼうせい」が描かれ
た墨書土器ぼくしょどぎが、東北では初めて検出された。

秋田県仙北郡美郷町土崎字厨川谷地 地内

参考ホームページ

<http://www.pref.akita.jp/hotta/what/what.html>

<https://blog.goo.ne.jp/iunko-f2/e/b6ea528773f288a154fafbdc0ae8ae9>

https://09270927.at.webry.info/201502/article_20.html

<http://keny72.blog.fc2.com/blog-entry-1593.html>

<https://blog.japan-videography.com/hottasaku/>

<http://abe-sin.com/kesiki/akita/hottanosaku1.html>

